

## 家庭と男女の役割に関する国際比較調査 単純集計結果(日本の結果)

### 調査の概要

	2022年	2012年
調査目的	家庭内の男女の役割分担や、女性の仕事とライフステージについての意識をとらえる。	
調査時期	2022年11月19日(土)～27日(日)	2012年11月24日(土)～12月2日(日)
調査方法	配付回収法	
調査対象	全国18歳以上	全国16歳以上
調査相手	住民基本台帳から層化無作為2段抽出 2,400人(12人×200地点)	住民基本台帳から層化無作為2段抽出 1,800人(12人×150地点)
調査有効数(率)	1,426人(59.4%)	1,212人(67.3%)

- ・2022年の調査に合わせるために、2012年の結果については、18歳以上で再集計している。  
2012年の18歳以上の有効数は、1,170人となる。
- ・調査相手抽出手順の詳細はNHK放送文化研究所のウェブサイトを参照のこと。  
<https://www.nhk.or.jp/bunken/yoron/nhk/process/sampling.html>
- ・調査問の<>は、開いているほうが統計的に有意に高いことを示す(信頼度95%)。
- ・第28問から第34問までは日本の独自質問である。

### —女性の仕事と家庭—

【第1問】女性と仕事については、さまざまな考え方があります。次のa～fのような考え方について、あなたは、どう思いますか。それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	
		そう 思う	ど そ ち ら 思 か う と い え ば	ど い ち え ら な い も	ど そ ち ら は か 思 わ な い ば	そ う は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	
		(% )							
a.	母親が外で働いていても、働いていなくても、 同じように、温かく、しっかりした母子の関係は つくれる	2012年	42.6	26.0	16.5	7.5	3.7	3.2	0.4
		2022年	45.3	27.6	15.2	5.5	2.9	2.8	0.7
b.	母親が外で働いていると、 小学校入学前の子どもは、 精神的に傷つくようだ	2012年	3.9	15.1	28.2	13.4	33.2	5.6	0.5
		2022年	3.4	11.4	25.7	12.2	39.9	6.7	0.8
c.	母親がフルタイムで働いていると、 家庭生活は損なわれるものだ	2012年	6.6	17.8	27.6	14.3	29.0	4.3	0.5
		2022年	4.1	11.9	23.4	14.0	40.9	4.8	1.0
d.	仕事を持つのはいいことだが、 女性の多くが本当に望んでいるのは、 家庭と子どもだ	2012年	15.0	17.9	30.4	12.0	18.5	5.5	0.8
		2022年	11.4	15.2	28.1	8.8	27.4	8.0	1.1
e.	主婦として家事をすることも、 働いて収入を得ることも、 同じように充実したものだ	2012年	36.8	28.7	19.6	6.3	3.8	3.7	1.1
		2022年	34.4	27.9	19.4	6.2	5.5	5.3	1.2
f.	男性の仕事は収入を得ること、 女性の仕事は家庭と家族の面倒を みることだ	2012年	7.9	15.7	24.9	13.2	36.3	1.5	0.4
		2022年	3.6	9.3	19.0	11.0	53.2	2.9	1.1

—家族に対する責任は男女どちらが持つべきか—

【第2a問】女性と男性のどちらが家庭や家族に対して責任を持つべきかについては、さまざまな意見があります。

次の中から、あなたのお考えに最も近い番号に、1つだけ○をつけてください。

	2022年	%
1. 女性のほうが、かなり多く責任を持つべきだ	0.6	
2. 女性のほうが、やや多く責任を持つべきだ	3.0	
3. 女性も男性も、同じくらい責任を持つべきだ	78.3	
4. 男性のほうが、やや多く責任を持つべきだ	9.5	
5. 男性のほうが、かなり多く責任を持つべきだ	3.4	
6. わからない	4.4	
7. 無回答	0.8	

—子どもの世話に向いているのは父母のどちらか—

【第2b問】母親と父親のどちらが子どもの世話に向いているかについては、さまざまな意見があります。

次の中から、あなたのお考えに最も近い番号に、1つだけ○をつけてください。

	2022年	%
1. 母親のほうが、かなり向いている	18.3	
2. 母親のほうが、やや向いている	35.2	
3. 母親も父親も、同じくらい向いている	37.9	
4. 父親のほうが、やや向いている	0.9	
5. 父親のほうが、かなり向いている	0.0	
6. わからない	7.2	
7. 無回答	0.6	

—女性の仕事とライフステージ—

【第3問】次のaとbのような時期に、女性が家の外に出て働くことについて、あなたはどのように思いますか。それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. フル タイム がよ い	2. パ ー ト タ イ ム が よ い	3. 働 か ず に い る の が よ い	4. わ か ら な い	5. 無 回 答
a. 小学校に入学する前の子どもがいるとき	2022年	8.6	39.6	27.8	23.1	1.0
b. 一番下の子どもが小学校に入学したあと	2022年	25.5	45.8	4.2	23.4	1.2

—結婚観と子どもをもつこと—

【第4問】 次のa～dのような考え方について、あなたはどのように思いますか。  
それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

		1. そう 思う	2. ど ち ら か と い え ば	3. ど ち ら と い え な い	4. ど ち ら は 思 わ な い ば	5. そ う は 思 わ な い	6. わ か ら な い	7. 無 回 答
	(%)							
a.	子どもをもつと、 親の自由の大部分が失われる	2012年 7.5 △	24.4 △	23.5	17.5 ▽	23.6	3.1	0.4 △
		2022年 10.0	29.2	22.6	9.0	24.6	3.4	1.1
b.	子どもをもつと、親の社会的信用が高くなる	2012年 13.0 ▽	24.4 ▽	26.8 △	7.4	20.0 △	7.5	0.9
		2022年 7.3	20.8	31.3	6.9	25.1	7.6	1.0
c.	子どもが欲しい人は結婚するべきだ	2012年 43.2 ▽	27.6	13.2 △	3.6	9.1 △	3.0 △	0.3
		2022年 23.9	24.8	22.9	4.5	15.5	7.7	0.8
d.	結婚するつもりがなくても、男女が同居する のは、かまわない	2012年 22.3 △	18.0	23.0	10.8 ▽	20.7 ▽	4.9	0.3 △
		2022年 33.3	20.9	21.4	6.8	10.5	6.1	1.0

—子育て観—

【第5問】 子どもは、さまざまな家族の中で育ちます。  
次のa～dのような考え方について、あなたはどのように思いますか。  
それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

		1. そう 思う	2. ど ち ら か と い え ば	3. ど ち ら と も い え な い	4. ど ち ら は 思 わ な い ば	5. そ う は 思 わ な い	6. わ か ら な い	7. 無 回 答
	(%)							
a.	シングルマザー(母子家庭の母親)も、 結婚したカップルと同じように 子どもを育てることができる	2022年 27.0	21.0	18.7	15.7	9.9	7.0	0.7
b.	シングルファーザー(父子家庭の父親)も、 結婚したカップルと同じように 子どもを育てることができる	2022年 21.5	20.1	20.4	16.9	13.0	7.2	1.0
c.	女性同士のカップルも、 男女のカップルと同じように 子どもを育てることができる	2012年 10.3 △	12.3 △	18.9	13.7 ▽	23.0 ▽	21.4 ▽	0.5
		2022年 21.7	20.6	20.8	8.9	10.0	17.2	0.9
d.	男性同士のカップルも、 男女のカップルと同じように 子どもを育てることができる	2012年 7.8 △	10.8 △	19.1	13.2 ▽	28.0 ▽	20.8	0.4
		2022年 18.6	18.4	21.3	10.0	12.0	18.7	1.0

—理想の子どもの数—

【第6問】あなたは、1つの家族の理想の子どもの数は、何人だと思いますか。  
人数を記入してください。

	2012年		2022年	%
1. 0人	0.3		0.4	
2. 1人	1.2	<	2.3	
3. 2人	39.1	<	47.4	
4. 3人	51.5	>	43.1	
5. 4人	4.4	>	2.3	
6. 5人	1.1		0.7	
7. 6人以上	0.3		0.2	
8. 無回答	2.1	<	3.6	

—5歳児の子育ての責任—

【第7問】父親と母親が、5歳の子どもを育てている家庭を考えてみてください。  
次のa～fについては、父親と母親のどちらが担うべきだと思いますか。  
それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	1. 母親が ほとんど 担うべきだ	2. 母親の ほうが 多く担う べきだ	3. 母親も 父親も 同じくらい 担うべきだ	4. 父親の ほうが 多く担う べきだ	5. 父親が ほとんど 担うべきだ	6. わからない	7. 無回答	
(%)								
a. 家計を支える	2022年	0.6	2.4	26.4	38.8	21.9	9.2	0.6
b. 日常的に子どもの世話をする	2022年	3.9	36.2	53.9	0.9	0.1	4.2	0.7
c. 子どもと遊んだり、 一緒にレジャー活動に参加したりする	2022年	0.2	2.5	83.9	7.6	1.4	3.8	0.6
d. 子どもにしつけをする	2022年	0.7	8.0	83.7	3.2	0.7	3.1	0.6
e. 子どもが困っているときに、 じっくり話を聞いて、助言を行う	2022年	1.3	10.2	79.4	5.1	0.5	3.2	0.4
f. 子どもの手本になる	2022年	0.4	2.1	87.2	4.4	1.7	3.6	0.6

—子育て中の有給休暇取得の賛否—

【第8a問】フルタイムで働く共働きのカップルに赤ちゃんが生まれて、子育てのために、片方の親が、しばらく仕事を休むことになったとします。あなたは、この親が、有給休暇を取得できるようにすべきだと思いますか。それとも、そうは思いませんか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。なお、「有給休暇」には、「産前産後休業」や「育児休業」も含まれます。

	2012年		2022年	%
1. そう思う	87.7	<	93.4	
2. そうは思わない	11.5	>	6.2	
3. 無回答	0.9		0.4	

—子育て中の有給休暇の期間—

【第8b問】【第8a問で「1」(そう思う)とお答えの方に】有給休暇の期間は、どのくらいあるべきだと思いますか。月単位でお答えください。

	2012年		2022年	%
1. 1～6か月	43.1		46.1	
2. 7～12か月	35.6		34.3	
3. 1年1か月～6か月	5.5	>	3.7	
4. 1年7か月～3年	13.0		11.9	
5. 3年1か月以上	0.4		0.8	
6. 無回答	2.3		3.1	

( 該当者=1,036人 1,337人)

—両親の有給休暇の取得割合—

【第9問】【第8a問で「1」(そう思う)とお答えの方に】それでは、このカップルが、同じような労働条件や待遇で働いていて、2人とも有給休暇を取得できるとしたら、その期間を、母親と父親で、どのように分けるのがよいと思いますか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。なお、「有給休暇」には、「産前産後休業」や「育児休業」も含まれます。

	2012年		2022年	%
1. 母親がすべての期間を休み、父親は休まない	18.7	>	5.9	
2. 母親がほとんどの期間を休み、父親は一部の期間を休む	58.1	>	52.3	
3. 母親と父親で、半分ずつ休む	15.6	<	31.6	
4. 父親がほとんどの期間を休み、母親は一部の期間を休む	0.1		0.2	
5. 父親がすべての期間を休み、母親は休まない	0.1		0.1	
6. わからない	6.1	<	8.7	
7. 無回答	1.3		1.3	

( 該当者=1,036人 1,337人)

—就学前の子をもつ親の仕事(望ましい形)—

【第10a問】小学校入学前の子どものいる家族にとって、家庭と仕事のあり方として

最も望ましいのは、次のうち、どれだと思いますか。

あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年		2022年	%
1. 母親は家にいて、父親はフルタイムで働く	49.8	>	27.3	
2. 母親はパートタイムで働き、父親はフルタイムで働く	32.3	<	42.1	
3. 母親も父親も、フルタイムで働く	3.4	<	9.3	
4. 母親も父親も、パートタイムで働く	0.9	<	2.2	
5. 父親はパートタイムで働き、母親はフルタイムで働く	0.0		0.0	
6. 父親は家にいて、母親はフルタイムで働く	0.0		0.0	
7. わからない	13.2	<	18.4	
8. 無回答	0.4		0.6	

—就学前の子をもつ親の仕事(望ましくない形)—

【第10b問】それでは、最も望ましくないのは、次のうち、どれだと思いますか。

あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年		2022年	%
1. 母親は家にいて、父親はフルタイムで働く	3.9		5.0	
2. 母親はパートタイムで働き、父親はフルタイムで働く	2.5		2.4	
3. 母親も父親も、フルタイムで働く	34.5	>	23.8	
4. 母親も父親も、パートタイムで働く	11.1		12.1	
5. 父親はパートタイムで働き、母親はフルタイムで働く	2.5		2.0	
6. 父親は家にいて、母親はフルタイムで働く	21.3		19.8	
7. わからない	23.8	<	34.5	
8. 無回答	0.4		0.5	

—就学前の子どもの世話—

【第11問】小学校入学前の子どもの保育については、さまざまな意見があります。

この時期の子どもの世話は、主に誰が担うべきだと思いますか。

あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年		2022年	%
1. 家族	71.5	>	65.3	
2. 政府や地方自治体	10.6		9.4	
3. 非営利団体(慈善団体など)	0.3		0.4	
4. 保育サービスを提供している民間の事業者 (保育所やベビーシッターなど)	10.3	<	14.0	
5. 親の雇い主	0.6		0.3	
6. わからない	6.4	<	10.3	
7. 無回答	0.3		0.3	

—就学前の子どもの保育料負担—

【第12問】それでは、小学校入学前の子どもの保育にかかる費用は、主に誰が負担するべきだと思いますか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年		2022年	%
1. 家族	54.9	>	44.2	
2. 政府や地方自治体	35.7	<	45.9	
3. 親の雇い主	0.9		1.3	
4. わからない	7.9		8.3	
5. 無回答	0.6		0.3	

—お年寄りの家事の手助け—

【第13問】日常の買い物や家のそうじ、洗たくなどで助けを必要としているお年寄りがいるとします。あなたは、主に誰が手助けするべきだと思いますか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年		2022年	%
1. 家族	54.8	>	47.6	
2. 政府や地方自治体	18.9	<	24.5	
3. 非営利団体(慈善団体など)	3.8		3.2	
4. 家事サービスを提供している民間の事業者	13.1		15.2	
5. わからない	9.1		9.1	
6. 無回答	0.3		0.4	

—お年寄りに対する援助の費用負担—

【第14問】それでは、お年寄りに対するこのような援助の費用は、主に誰が負担するべきだと思いますか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年		2022年	%
1. お年寄り自身またはその家族	41.0	>	36.7	
2. 政府や地方自治体	45.6	<	50.4	
3. わからない	12.8		12.6	
4. 無回答	0.5		0.4	

—一週間の家事時間(育児除く)—

【第15a問】あなた自身のことについてうかがいます。あなたは、一週間に何時間くらい家事をしていますか。育児や余暇の時間を除いてお答えください。

	2012年		2022年	%
1. 0時間	10.2	>	6.8	
2. 5時間未満	28.9		26.6	
3. 5～10時間未満	16.0		18.3	
4. 10～20時間未満	14.0	<	17.7	
5. 20～30時間未満	14.3		17.0	
6. 30～40時間未満	7.7		6.8	
7. 40時間以上	6.5	>	3.9	
8. 無回答	2.5		2.7	

— 一週間の家族の世話時間 —

【第15b問】あなたは、一週間に何時間くらい家族の世話をしていますか。  
(子どもやお年寄り、病気や障害のある家族の世話を含めます)

	2012年	2022年	%
1. 0時間	30.8	33.9	
2. 5時間未満	22.2	21.1	
3. 5～10時間未満	15.2	14.1	
4. 10～20時間未満	10.8	11.3	
5. 20～30時間未満	6.2	7.4	
6. 30～40時間未満	2.9	2.8	
7. 40時間以上	6.1	5.0	
8. 無回答	5.8	4.4	

— 配偶者と一緒に生活しているか —

【第16a問】ところで、あなたは現在、配偶者(パートナー)と一緒に生活していますか。  
あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年	2022年	%
1. 一緒に生活している	66.2	62.3	>
2. 一緒に生活していない	33.5	36.7	<
3. 無回答	0.3	1.0	

— 配偶者の一週間の家事時間(育児除く) —

【第16b問】【第16a問で「1」(一緒に生活している)とお答えの方に】  
あなたの配偶者(パートナー)についておたずねします。  
あなたの配偶者(パートナー)は、一週間に何時間くらい家事をしていますか。  
育児や余暇の時間を除いてお答えください。

	2012年	2022年	%
1. 0時間	12.5	7.3	>
2. 5時間未満	28.8	24.3	>
3. 5～10時間未満	12.0	15.6	<
4. 10～20時間未満	12.9	17.2	<
5. 20～30時間未満	14.7	16.6	
6. 30～40時間未満	7.5	7.3	
7. 40時間以上	7.3	7.2	
8. 無回答	4.5	4.4	

(該当者 = 778人 902人)

— 配偶者の一週間の家族の世話時間 —

【第16c問】【第16a問で「1」(一緒に生活している)とお答えの方に】  
あなたの配偶者(パートナー)は、一週間に何時間くらい家族の世話をしていますか。  
(子どもやお年寄り、病気や障害のある家族の世話を含めます)

	2012年	2022年	%
1. 0時間	24.0	26.6	
2. 5時間未満	24.3	22.8	
3. 5～10時間未満	16.7	16.1	
4. 10～20時間未満	12.6	13.7	
5. 20～30時間未満	5.9	7.0	
6. 30～40時間未満	2.8	2.3	
7. 40時間以上	6.6	5.5	
8. 無回答	7.1	5.9	

(該当者 = 778人 902人)

—収入の管理状況—

【第17問】【第16a問で「1」(一緒に生活している)とお答えの方に】

お宅の収入は、どのように管理していますか。最もあてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年			2022年		%
	2012年	2022年		2012年	2022年	
1. 自分がすべて管理し、配偶者(パートナー)には必要なだけ渡している	36.9	28.3	>	28.3		
2. 配偶者(パートナー)がすべて管理し、自分は必要なだけもらっている	35.0	31.4		31.4		
3. 収入はすべて共同で管理し、それぞれが必要なだけ持っていく	10.9	13.1		13.1		
4. 収入の一部を共同で管理し、残りは2人が別々に持っている	8.4	12.4	<	12.4		
5. 2人とも、自分の収入は自分で管理している	6.8	12.1	<	12.1		
6. 無回答	2.1	2.8		2.8		
	( 該当者 = 778人 )			( 902人 )		

—家事分担—

【第18問】【第16a問で「1」(一緒に生活している)とお答えの方に】

次のa～fのような家事は、お宅では、誰がしていますか。

それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	(%)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
		いつも自分	だいたい自分	2人または共同で、	だいたい配偶者(パートナー)	いつも配偶者(パートナー)	2人以外の人	わからない	無回答
a. 洗たく	2012年	38.2	12.0	5.8	13.0	28.1	1.4	0.3	1.3
	2022年	30.6	12.6	10.3	15.1	26.5	1.8	0.6	2.5
b. 友人・知人とのつきあいや、家族とする行事の計画と実行	2022年	8.3	23.8	42.4	12.2	5.1	0.9	4.5	2.8
	2012年	24.6	19.3	19.2	15.9	13.2	1.9	3.5	2.4
c. 家族が病気のときの世話	2022年	16.6	20.2	26.5	18.3	10.1	0.9	4.3	3.1
	2012年	24.2	19.2	22.6	16.7	14.7	1.3	0.4	1.0
d. 食料や日用品の買い物	2022年	16.9	19.7	28.2	20.2	10.5	1.4	0.8	2.3
	2012年	28.8	17.6	14.0	17.6	19.8	0.9	0.1	1.2
e. そうじ	2022年	19.2	20.2	20.0	20.7	15.5	0.9	1.0	2.5
	2012年	35.0	15.2	6.7	14.8	25.1	1.8	0.5	1.0
f. 食事のしたく	2022年	27.7	16.9	8.9	19.8	21.6	1.7	0.9	2.5

( 該当者 = 2012年 778人 / 2022年 902人 )

—家事分担の公平感—

【第19問】【第16a問で「1」（一緒に生活している）とお答えの方に】

あなたは、配偶者（パートナー）との家事分担の割合について、どう感じていますか。

あなた自身が適当と思う割合と比べて、どう感じているか、あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

自分がしている家事の割合は・・・

	2012年	>	2022年	%
1. かなり多い	25.8		20.6	
2. やや多い	13.5		15.0	
3. 適当だ	29.8		29.9	
4. やや少ない	10.8		13.1	
5. かなり少ない	18.8		19.1	
6. 無回答	1.3		2.3	

( 該当者 = 778人                      902人 )

—家庭と仕事の葛藤—

【第20問】あなたは、この3か月の間に、次のa～dのようなことが、どのくらいありましたか。

それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

		1. 週 に 数 回	2. 月 に 数 回	3. 1 〜 2 回	4. ま っ た く な い	5. あ ま た は ま ら な い	6. 無 回 答
	(%)						
a.	仕事で疲れてしまい、家に帰ってから、必要な家事をすることができなかった	2012年 13.2	14.6	10.9	25.6	33.8	1.8
		2022年 12.4	16.6	13.1	22.5	33.7	1.6
b.	仕事の時間が長すぎて、家族に対する責任を十分に果たせなかった	2012年 10.1	10.1	11.8	30.4	35.8	1.8
		2022年 9.5	9.2	12.1	30.3	37.0	1.9
c.	家事で疲れてしまい、職場に来てから仕事を十分に果たせなかった	2012年 1.1	3.3	7.0	50.4	36.0	2.1
		2022年 2.0	4.2	8.1	47.8	36.0	2.0
d.	家庭での負担が重すぎて、仕事に集中するのが難しいと感じた	2012年 1.4	3.2	5.8	51.5	36.3	1.9
		2022年 1.4	3.4	7.7	48.4	37.1	2.0

—親族の定義—

【第21問】誰を身近な親族と考えるかは、人によって、とらえ方が異なることがあります。

配偶者（パートナー）と子どもと同居している人物を想像してみてください。

あなたが、この人物の身近な親族だと思うのは、次の中の誰でしょうか。

あなたのお考えに最も近い番号に、1つだけ○をつけてください。

	2022年	%
1. 配偶者（パートナー）と子どものみ	26.0	
2. 1に加えて、両親やきょうだいも含む	53.0	
3. 2に加えて、いとこ、おばやおじ、おいやめいも含む	11.3	
4. 3に加えて、その他の親せきも含む	2.3	
5. わからない	5.8	
6. 無回答	1.6	

—きょうだいに部屋を貸すべきか—

【第22a問】親族に対する責任については、さまざまな意見があります。  
 2人の子どもをもつ夫婦が、客を1人泊めることができる家に住んでいるとします。  
 そして、夫婦のどちらかのきょうだいが、数か月滞在する部屋を必要としています。  
 あなたは、この夫婦が、きょうだいを無料で、家に滞在させるべきだと思いますか。  
 それとも、滞在させるべきではないと思いますか。  
 次のように、1を「当然滞在させるべきだ」、7を「絶対に滞在させるべきではない」とした場合、  
 あなたのお考えは、1～7のどのあたりになりますか。  
 あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

		2022年	%
1. 当然滞在させるべきだ	↑ ↓	11.6	
2.		10.4	
3.		11.8	
4.		17.0	
5.		9.5	
6.		8.0	
7. 絶対に滞在させるべきではない		9.4	
8. わからない		20.1	
9. 無回答		2.1	

—配偶者をなくした父親と同居すべきか—

【第22b問】2人の子どもをもつ別の夫婦が、客を1人泊めることができる家に住んでいるとします。  
 夫婦のどちらかの父親が、最近、妻を亡くし、父親は、健康状態はよいのですが、孤独を感じています。  
 あなたは、この夫婦が、父親に、一緒に暮らそうと申し出るべきだと思いますか。  
 それとも、申し出るべきではないと思いますか。  
 次のように、1を「当然申し出るべきだ」、7を「絶対に申し出るべきではない」とした場合、  
 あなたのお考えは、1～7のどのあたりになりますか。  
 あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

		2022年	%
1. 当然申し出るべきだ	↑ ↓	9.7	
2.		7.9	
3.		14.4	
4.		20.3	
5.		8.5	
6.		6.8	
7. 絶対に申し出るべきではない		6.6	
8. わからない		23.6	
9. 無回答		2.2	

—孫に経済的な援助をすべきか—

【第23問】高齢の夫婦がいるとします。孫の一人が、勤めていた企業が最近閉鎖されたため、一時的に金銭的な援助を必要としています。あなたは、この夫婦が、何とかして孫を援助すべきだと思いますか。それとも、援助すべきではないと思いますか。次のように、1を「当然援助すべきだ」、7を「絶対に援助すべきではない」とした場合、あなたのお考えは、1～7のどのあたりになりますか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

		2022年	%
1. 当然援助すべきだ	↑ ↓	6.1	
2.		6.5	
3.		14.9	
4.		25.4	
5.		10.2	
6.		9.0	
7. 絶対に援助すべきではない		6.9	
8. わからない		18.9	
9. 無回答		2.0	

—頼りになるのは親族か友人か—

【第24問】誰が頼りになるのか、また、誰が大切なのかについては、さまざまな意見があります。誰が頼りになるのかについては、「身近な親族のほうが頼りになる」と考える人もいれば、「親しい友人のほうが頼りになる」と考える人もいますが、あなたのお考えは、どちらに近いでしょうか。次のように1を「当然身近な親族のほうが頼りになる」、4を「身近な親族も、親しい友人も、同じくらい頼りになる」、7を「当然親しい友人のほうが頼りになる」とした場合、あなたのお考えは、1～7のどのあたりになりますか。それとも、8の「どちらも頼りにならない」とお考えでしょうか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

		2022年	%
1. 当然身近な親族のほうが頼りになる	↑ ↓	31.8	
2.		17.6	
3.		9.3	
4. 身近な親族も、親しい友人も、同じくらい頼りになる		21.0	
5.		1.3	
6.		0.6	
7. 当然親しい友人のほうが頼りになる		1.5	
8. どちらも頼りにならない		5.8	
9. わからない		9.3	
10. 無回答		1.9	

—大切なのは親族か友人か—

【第25問】誰が大切なのかについては、「身近な親族が最も大切だ」と考える人もいれば、「親しい友人が最も大切だ」と考える人もいますが、あなたのお考えは、どちらに近いでしょうか。次のように1を「当然身近な親族が最も大切だ」、4を「身近な親族も、親しい友人も、同じくらい大切だ」、7を「当然親しい友人が最も大切だ」とした場合、あなたのお考えは、1～7のどのあたりになりますか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2022年	%
1. 当然身近な親族が最も大切だ	30.7	
2.	14.8	
3.	10.9	
4. 身近な親族も、親しい友人も、同じくらい大切だ	29.7	
5.	1.3	
6.	0.4	
7. 当然親しい友人が最も大切だ	0.9	
8. わからない	9.4	
9. 無回答	1.9	

—幸福度—

【第26問】あなたの今の生活は、全体として、幸せだと思いますか。それとも、幸せではないと思いますか。あなたのお気持ちに近い番号に、1つだけ○をつけてください。

	2012年		2022年	%
1. 非常に幸せである	11.4		13.7	
2. 幸せである	27.8		31.2	
3. まあ幸せである	39.6		36.3	
4. どちらともいえない	12.6	>	9.3	
5. あまり幸せではない	4.1		4.3	
6. 幸せではない	1.7		1.6	
7. まったく幸せではない	0.7		0.7	
8. わからない	2.1		2.0	
9. 無回答	0.1	<	0.8	

—男女どちらに適した職業か—

【第27問】女性と男性のどちらが特定の指導的な地位に向いているかについては、さまざまな意見があります。次のa～cの地位について、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

		1. 女性 かなりの ほうが 向いて いる	2. 女性 やの ほう が 向 いて い る	3. 同 女 性 く も ら い 向 い て い る	4. 男 性 や の ほう が 向 い て い る	5. 男 性 か な り の ほう が 向 い て い る	6. わ か ら な い	7. 無 回 答
	(%)							
a. 政府の閣僚	2022年	1.5	3.5	55.6	17.3	7.4	13.6	1.1
b. 大学の学長	2022年	1.3	3.6	63.0	12.3	5.3	13.2	1.4
c. 大企業の重役	2022年	1.1	2.1	56.6	18.2	7.9	12.9	1.3

—女性リーダーの割合について—

【第28問】あなたは、日本の国会議員や企業の役員などに占める女性の割合について、どうお考えですか。

次の3つの中から、あなたのお考えに最も近い番号に、1つだけ○をつけてください。

	2022年	%
1. 今よりも、女性が多いほうがよい	67.5	
2. 今のままでよい	29.0	
3. 今よりも、女性が少ないほうがよい	1.9	
4. 無回答	1.7	

—クォータ制を導入すべきか—

【第29問】海外では、女性のリーダーを増やすために、国会議員や企業の役員などについて、一定の割合を女性にする制度(クォータ制)を取り入れている国もあります。

あなたは、日本でもこの制度を導入すべきだと思いませんか。

次の中から、あなたのお考えに最も近い番号に、1つだけ○をつけてください。

	2022年	%
1. ぜひ導入すべきだと思う	20.3	
2. どちらかといえば、導入すべきだと思う	52.5	
3. どちらかといえば、導入すべきだとは思わない	19.1	
4. まったく導入すべきだとは思わない	5.3	
5. 無回答	2.8	

—クオータ制に賛成の理由(MA)—

【第30問】【第29問で「1」、「2」(ぜひ、あるいはどちらかといえば導入するべきだと思う)とお答えの方に]

あなたが、女性のリーダーを増やすためのこうした制度(クオータ制)を導入するべきだと思う理由は何ですか。

次の中から、あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

	2022年	%
1. 諸外国と比べて女性の割合が低すぎるから	40.2	
2. 政党や企業などの自主的な努力では進まないから	26.8	
3. 物事を決めるときに、 女性の考えがもっと反映されるようになるから	53.0	
4. 男女格差を解消するべきだから	45.7	
5. 多くの国で導入されているから	6.2	
6. その他	2.6	
7. 無回答	0.1	

(該当者=1,038人)

—クオータ制に反対の理由(MA)—

【第31問】【第29問で「3」、「4」(まったく、あるいはどちらかといえば導入するべきだとは思わない)とお答えの方に]

あなたが、女性のリーダーを増やすためのこうした制度(クオータ制)を導入するべきだとは思わない理由は何ですか。

次の中から、あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

	2022年	%
1. 女性の割合を無理に上げる必要がないから	33.9	
2. 政党や企業などの自主的な努力で十分だから	6.9	
3. 性別にかかわらず、能力のある人をリーダーに 登用するべきだから	81.9	
4. 男性への逆差別につながるから	8.9	
5. そもそも女性の人数が少ないために、 登用するのが難しい組織があるから	8.6	
6. その他	6.0	
7. 無回答	1.4	

(該当者= 348人)

—性別によって不利益を受けたことがあるか—

【第32問】あなたご自身は、男性、女性といった性別によって、不利益を受けたと感じたことがありますか。

次の中から、あなたのお考えに最も近い番号に、1つだけ○をつけてください。

	2022年	%
1. 大いにある	5.9	
2. ある程度ある	26.0	
3. あまりない	48.7	
4. まったくない	18.0	
5. 無回答	1.4	

—不利益を受けた場面(MA)—

【第33問】【第32問で「1」、「2」(大いに、あるいはある程度ある)とお答えの方に】

それでは、あなたは、どのような場面で不利益を受けたと感じましたか。

次の中から、あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

	2022年	%
1. 親のしつけ	27.3	
2. 教育、進学	27.0	
3. 就職	26.2	
4. 昇進、仕事	49.7	
5. 結婚	18.0	
6. 家事、育児	46.4	
7. 介護	17.8	
8. 食事会、飲み会	29.2	
9. 服装	19.8	
10. トイレ	11.6	
11. その他	4.6	
12. 無回答	0.0	

(該当者 = 455人)

—結婚観と子ども—

【第34問】次のa~cのような考え方について、あなたはどう思いますか。

それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

		1. そう 思う	2. ど ち ら か と い え ば	3. ど い ち ら な い も	4. ど ち ら か と 思 わ な い ば	5. そ う は 思 わ な い	6. わ か ら な い	7. 無 回 答
	(%)							
a. 結婚している人のほうが、結婚していない人よりだいたい幸せだ	2012年	9.6	18.2	38.8	5.6	23.2	4.2	0.4
	2022年	4.3	18.4	45.5	4.1	20.1	6.8	0.8
b. 子どもは、親にとって経済的な負担になる	2012年	12.4	26.8	19.0	11.7	26.7	3.0	0.5
	2022年	8.2	27.1	21.7	8.1	29.0	4.8	1.1
c. 子どもをもつと、母親か父親、あるいは両親ともに、就職や仕事上のチャンスが制限される	2012年	9.7	28.7	20.5	12.1	23.7	4.7	0.7
	2022年	5.1	21.0	28.8	8.8	26.8	8.4	1.2

—家計のやりくりは大変か—

【第35a問】あなたのご家庭の収入で、家計をやりくりするのは大変ですか、それとも楽ですか。

あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

なお、一緒に生活している方の収入を含めてお考えください。

	2022年	%
1. とても大変	16.9	
2. どちらかといえば、大変	30.4	
3. どちらともいえない	28.5	
4. どちらかといえば、楽	14.7	
5. とても楽	2.6	
6. わからない	6.3	
7. 無回答	0.6	

—1年前と比べた家計の変化—

【第35b問】1年前と比べて、あなたのご家庭の家計に変化はありましたか。

あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

	2022年	%
1. かなり良くなった	0.7	
2. やや良くなった	6.3	
3. 変わらない	44.4	
4. やや悪くなった	30.0	
5. かなり悪くなった	11.9	
6. わからない	6.2	
7. 無回答	0.4	

## サンプル構成

	全体	男女		年代					
		男性	女性	18~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
2022年	1,426人	664	762	140	161	213	255	257	400
	100.0%	46.6	53.4	9.8	11.3	14.9	17.9	18.0	28.1
2012年	1,170人	525	645	141	206	197	191	229	206
	100.0%	44.9	55.1	12.1	17.6	16.8	16.3	19.6	17.6

	全体	男の年代						女の年代					
		18~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	18~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
2022年	1,426人	55	76	98	123	125	187	85	85	115	132	132	213
	100.0%	3.9	5.3	6.9	8.6	8.8	13.1	6.0	6.0	8.1	9.3	9.3	14.9
2012年	1,170人	71	89	86	86	103	90	70	117	111	105	126	116
	100.0%	6.1	7.6	7.4	7.4	8.8	7.7	6.0	10.0	9.5	9.0	10.8	9.9

	全体	都市規模				
		特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村
2022年	1,426人	272	319	361	203	271
	100.0%	19.1	22.4	25.3	14.2	19.0
2012年	1,170人	225	256	283	209	197
	100.0%	19.2	21.9	24.2	17.9	16.8